

米国 MD Andersonがんセンターにおけるがん医療 全米第1位のがんセンター

講師 Dr. Cullen M. Taniguchi, M.D., Ph.D.

MD Anderson がんセンター (University of Texas MD Anderson Cancer Center) は、「医療大国」アメリカのがんセンターランキングで、過去11年間で10回も全米第1位の評価を得ています。「どながん医療が行われているのか?」「何が優れているのか?」「日本と何が違うのか?」

MD Anderson がんセンターのがん医療について、ハワイ出身の日系人医師である Taniguchi先生 (同センター放射線治療医) に御講演頂きます。皆様、奮って御参加下さい。(講義は英語ですが、分かりやすい講義をお願いしています。)



【講師 Dr. Cullen M. Taniguchi の紹介】

Dr. Taniguchiは現職のMD Andersonがんセンター 放射線治療科 助教授。1998年に米国 Occidental Collegeを卒業後、世界で最も古く権威ある国際フェロシップ制度のローズ奨学制度 (Rhodes Scholarship) にて英国 オックスフォード大学院に修士留学。米国に帰国後はハーバード大学医学部に入學し、M.D., Ph.D.を取得。2009～14年、米国スタンフォード大学での臨床レジデントとリサーチフェローを経て、2014年から米国 MD Anderson Cancer Centerの放射線治療科 助教授を務める。専門は消化器癌に対する放射線治療で、放射線防護や低酸素影響の領域において基礎研究とトランスレーショナル研究も行っている。ハワイ出身の日系4世アメリカ人。

日時：2019年3月12日(火)

18時～19時

場所：福島県立医科大学11号館
第2臨床講義室

司会：田巻 倫明 先生 (放射線腫瘍学講座)
共催：NPO 福島放射線腫瘍研究会

参加無料 / 事前登録不要